

令和 8 年度 葛飾区予算案概要 【当初予算案主要事業概要】



会場イメージ：葛飾にいじゅくみらい公園

サカセみらい

全国みどりと花のフェアかつしか
5月16日（土）～6月14日（日）開催！



Bloom
Your Future
Katsushika

令和 8 年 2 月

持続可能な開発目標（SDGs）17のゴール

<p>1 貧困</p> <p>1 貧困をなくそう</p>  <p>あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。</p>	<p>2 飢餓</p> <p>2 飢餓をゼロに</p>  <p>飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。</p>
<p>3 保健</p> <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>  <p>あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。</p>	<p>4 教育</p> <p>4 質の高い教育をみんなに</p>  <p>全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。</p>
<p>5 ジェンダー</p> <p>5 ジェンダー平等を實現しよう</p>  <p>ジェンダー平等を達成し、全ての女性及び女兒の能力強化を行う。</p>	<p>6 水・衛生</p> <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>  <p>全ての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。</p>
<p>7 エネルギー</p> <p>7 こころとからだにやさしいエネルギーを</p>  <p>全ての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。</p>	<p>8 経済成長と雇用</p> <p>8 働きがいも経済成長も</p>  <p>包摂的かつ持続可能な経済成長及び全ての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する。</p>
<p>9 インフラ、産業化、イノベーション</p> <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>  <p>強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。</p>	<p>10 不平等</p> <p>10 人や国の不平等をなくそう</p>  <p>各国内及び各国間の不平等を是正する。</p>
<p>11 持続可能な都市</p> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>  <p>包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する。</p>	<p>12 持続可能な生産と消費</p> <p>12 つくる責任 つかう責任</p>  <p>持続可能な生産消費形態を確保する。</p>
<p>13 気候変動</p> <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>  <p>気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。</p>	<p>14 海洋資源</p> <p>14 海の豊かさを守ろう</p>  <p>持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。</p>
<p>15 陸上資源</p> <p>15 陸の豊かさも守ろう</p>  <p>陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。</p>	<p>16 平和</p> <p>16 平和と公正をすべての人に</p>  <p>持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、全ての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。</p>
<p>17 実施手段</p> <p>17 パートナリシップで目標を達成しよう</p>  <p>持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化させる。</p>	

Ⅲ 子ども・教育分野

7 子ども・家庭支援

1 母子保健

～安心して妊娠・出産・育児ができるよう、親と子の心身の健康を支えます～

1 **■** ゆりかご葛飾の推進【計画】【拡大】（福祉費）

青戸保健センター・子育て政策課・子育て応援課ほか 318百万円

妊娠初期の面談（ゆりかご面接）や乳幼児健康診査など、親と子を支える事業を通して、関係機関と連携しながら、就学前までの継続的な支援を行います。

区民に身近な保健センターや子ども未来プラザ等で、親と子の心身の健康の保持増進を図るための教室・講座等を実施します。また、妊娠・出産・育児に関する情報提供を行うほか、遊びなどの活動の中で気軽に相談に応じます。

8年度は、母子保健部門と児童福祉部門を一体的にマネジメントする「こども家庭センター機能」を整備し、両部門の連携を強化することで、妊娠期から子どもが成人するまでの期間において更に切れ目のない支援を行っていきます。

2 **■** 産後ケア事業の充実【計画】【拡大】（福祉費）

青戸保健センター・子ども家庭支援課 379百万円

母親の身体的回復と心理的な安定を促進するとともに、母親自身がセルフケア能力を育み健やかな育児ができるよう、母子とその家族を支援します。

8年度は、通所型・居宅訪問型において、多胎児を養育する母親の利用上限回数を引き上げます。また、産婦健康診査について、都内共通受診方式を導入し、産後ケア事業の充実を図ります。

2 子育て家庭への支援



～子育て中の家庭を支援し、安心して子どもを育てられるようにします～

1 園子ども未来プラザの整備【計画】（福祉費）

子育て政策課・保育課 457百万円

子育て支援の拠点となる子ども未来プラザを整備し、妊娠期から成人するまでの全ての子どもとその家庭への支援に取り組むとともに、配慮を必要とする子どもや保護者への支援を充実させます。また、区民に身近な場所で、気軽に相談したり仲間づくりができる環境を整えるとともに、地域団体や行政機関等とのネットワークを構築することで、地域の子育て力向上に寄与します。

(1) (仮称) 子ども未来プラザ小菅

小菅保育園

所在地 堀切四丁目60番(子ども未来プラザ予定地)

小菅二丁目19番1号(仮園舎)

定員 未定(現在の定員102人)

保育内容予定 11時間保育・緊急一時保育・障害児保育

開設予定 未定(公設公営)

(2) (仮称) 子ども未来プラザ白鳥

白鳥保育園

所在地 白鳥三丁目32番(子ども未来プラザ予定地)

西亀有一丁目18番6号(仮園舎)

定員 未定(現在の定員109人)

保育内容予定 11時間保育・1時間延長保育・緊急一時保育・障害児保育

開設予定 令和9年度後半(公設公営)

2 **園** 使いやすい預かり保育の充実【計画】（福祉費）

子育て施設支援課 777百万円

保育施設における延長保育の実施や、私立幼稚園等における教育時間前後や三季休業中の預かり保育の実施、使いやすい一時保育の仕組みの構築を通じて、多様な働き方への対応はもとより、子どもの集団保育の経験や親のリフレッシュ、レスパイトを目的とした利用など、子どもの最善の利益の実現を図りながら、保育施設利用者、幼稚園利用者、家庭で子どもを保育する保護者、それぞれが使いやすい預かり保育を実現します。

3 **園** 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）【新規】（福祉費）

子育て施設支援課 623百万円

全ての子どもの育ちを支援し、子どもの良質な成育環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して、多様な働き方やライフスタイルにかかわらず形での支援を強化するため、就労要件を問わず時間単位等で柔軟に保育施設等を利用できる「こども誰でも通園制度」を実施します。

4 **園** 就学前教育の質向上の推進【拡大】（福祉費）

子育て施設支援課 129百万円

区内の教育・保育施設を対象に、日常の保育を他園の保育者に見学してもらう公開保育を実施し、前向きな意見やアドバイス等をもたらす取組を支援することで、各園が相互に学び合いながら就学前教育の質の向上をめざす取組を推進します。

また、私立幼稚園、認定こども園の特色ある幼児教育の取組を支援し、公私・施設類型の枠組みを越えて好事例の横展開を図るほか、保育施設等における乳幼児の興味・関心に応じた探究活動の実践を、東京都の「とうきょう すくわくプログラム推進事業」

を活用し支援します。

8年度は、特色ある幼児教育の補助対象を拡大し、他園の取組を参考にして自園で実践する取組等に対しても補助することで、好事例の更なる横展開を図ります。

3 仕事と子育ての両立支援



～仕事と子育てを両立しやすい環境を整えます～

1 総合的な保育充実支援【計画】【拡大】（福祉費）

子育て施設支援課 777百万円

質の高い保育の提供をめざすため、保育人材の安定的な確保や、保育士等の経済的負担軽減の支援により、保育士等の働く環境を改善することで人材の定着を図るほか、指導検査の効果的な実施など総合的な保育の充実につながる取組を実施します。

8年度は、保育施設で実施している就職フェアを幼稚園等の教育施設に広げて実施するほか、宿舎借上支援事業の補助対象を拡大し、より一層、総合的な保育の充実につながるよう取組を強化します。

(1) 就職フェア・就職相談等の実施

就職フェアの実施、保育士募集パンフレットの作成により、葛飾区で保育士等として働く魅力を発信するとともに、就職相談を積極的に実施することで、保育施設等への就職を支援し、人材の確保を図ります。

(2) 保育士・幼稚園教諭奨学金返済支援事業等

奨学金返済支援事業や宿舎借上支援事業等の実施により、保育士・幼稚園教諭等の経済的な負担を軽減し、葛飾区で働く魅力づくりにつなげることで、人材の確保と定着を図り、保育施設等が充実した保育を実施する支援を行います。

(3) 指導検査体制の強化

効果的な指導検査を行うため、保育施設の会計に精通した公認会計士等を活用し、職員へのスキルアップを図るとともに検査の精度を高め、安定した保育運営の支援を行います。

4 放課後支援



～子どもたちが放課後等を安全・安心に過ごせるようにします～

1 学校施設等を活用した放課後子ども支援事業【計画】【拡大】（教育費）

放課後支援課 630百万円

放課後支援事業の総合的な再構築の検討を継続しながら、学校改築等にあわせた校内学童保育クラブの開設や、待機児童解消に向けた緊急対策としての放課後居場所事業「かつしかプラス」の拡大を進めることで、将来的な待機児童ゼロをめざすとともに、全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごせる環境づくりを推進します。

8年度は、「かつしかプラス」の実施を新規で1校開始するとともに、夏季一時学童保育は実施クラブを5クラブ拡大します。

5 子ども・若者支援



～子どもの権利・利益を守り、若者の社会的な自立を支援します～

1 児童相談の充実【計画】（福祉費）

子ども家庭支援課・児童相談課 127百万円

複雑化・深刻化する児童虐待や養育困難などの子どもと家庭に関する相談に対して、

子ども総合センターが中核となり関係機関とのネットワークを更に深化させ、子どもや保護者一人一人の状況に合わせた支援をこれまで以上に適切かつ迅速に提供します。

また、区民に寄り添う支援を担う子ども総合センターと、子どもの安全確保など法に基づく専門的な支援を担う児童相談所が両輪となって、子どもの最善の利益を確保する体制を強化します。

2 **■**里親委託等推進事業【計画】（福祉費）

児童相談課 46百万円

社会的養護を必要とする子どもたちが、家庭養育優先の原則のもと里親家庭という選択をできるように、里親制度に関する普及啓発と里親のリクルート活動を行い、里親登録数の向上を図ります。里親の登録に当たっては、葛飾区児童福祉審議会里親部に諮問し、答申を受け、葛飾区里親登録基準に適した里親を登録します。

子どもたちが安心して里親家庭で生活できるように、里親養育包括支援（フォスターリング）事業について専門性をもつ民間事業者に委託し、里親を包括的に支援することで、里親と子どもを支え、子どもの最善の利益を確保します。里親、外部委員、関係機関職員による里親委託等推進委員会を設置し、里親登録数と里親委託の状況を共有し、適切に事業を実施します。

3 **■**社会的養護自立支援拠点事業【新規】（福祉費）

児童相談課 8百万円

児童養護施設や里親などのもとを離れた社会的養護経験者（ケアリーバー）等の孤立を防ぎ、必要な支援に適切につなぐため、相互の交流を行う場所を設けるとともに、必要な情報の提供、相談及び社会的養護経験者等の支援に関する関係機関との連絡調整、その他の必要な支援を行う社会的養護自立支援拠点事業を実施します。

4 園子ども・若者支援体制の充実【計画】【拡大】（福祉費）

子ども・若者担当課 76百万円

子ども・若者の健やかな成長を支えるため、家庭の経済状況や養育環境、ひきこもり状態、孤立など様々な事情を有する子ども・若者やその家族からの相談を受け、関係機関や地域活動団体と連携して適切な支援を行います。

また、子ども・若者の安全・安心な生活を支えるため、高校中退の未然防止、高校中退者・進路未決定者への就学支援等を行うとともに、子どもの学習等の意欲を喚起する支援を行います。

8年度は、養育環境に課題を抱える子ども等に対し、居場所の提供や生活習慣の形成の支援等を行う児童育成支援拠点事業を実施する団体を対象に、運営費等を補助する助成制度を新たに創設します。

5 園子ども・若者活動団体支援【計画】【拡大】（福祉費）

子ども・若者担当課 39百万円

社会生活を営む上で、様々な困難や事情を有する子ども・若者（おおむね39歳まで）を支援する地域活動団体の活動を支援するとともに、区と地域活動団体との連携を深め、子ども・若者の健やかな育成を図ります。

8年度は、体験格差の解消を図るため、子どもの多様な体験機会を確保する活動に対する助成を拡充します。

6 園ヤングケアラー等支援事業【計画】（福祉費）

子ども・若者担当課 1.4百万円

本来大人が担うことが想定される家事や家族の世話などを行っている子どもであるヤングケアラーについて、社会的認知度を向上させるための周知啓発や、ヤングケ

アラーとその家族への支援を行う団体へ運営費の助成等を通して、相談や支援につながりやすい環境を整えます。また、関係各課と連携し、必要に応じてヤングケアラーの負担軽減に資する支援策の拡充を検討します。

8 学校教育

1 学力・体力の向上



～学力・体力の向上を図り、子どもたちの生きる力を育みます～

1 総合的な学力向上事業～次代に活躍する人材の育成～【計画】【拡大】（教育費）

教育指導課 135百万円

これまでの学力向上の取組を更に発展させるとともに、ICTの活用による子ども一人一人の個別最適な学びの実現や、情報活用能力の向上のための取組を進めます。

また、ICTを活用した教員の指導力向上や、PDCAサイクルに基づいた授業改善の取組を推進します。

さらに、小学校への学習指導補助員の配置、中学校における家庭学習の取組、タブレット端末を活用した自学自習等の取組を総合的に進めます。

8年度は、「読み解く力」を育むことをめざし、7年度に導入した新聞記事を教材としたワークシートの対象学年を、小学5年生から中学3年生までに拡大します。

また、かつしかチャレンジプログラムの取組に、学習センター（学校図書館）を活用し、読む力及び情報活用能力を高め、探究的な学びに取り組むコースを新設します。

2 放課後及び夏季休業期間の学習センターの開放【新規】（教育費）

教育指導課 263百万円

放課後や夏季休業期間に学校司書を学習センター（学校図書館）に配置し、子ども

たちの読書活動や探究的な学びを充実させ、主体的な学びや課題を見つけ解決する力を高めます。

3 **■**教育情報化推進事業【計画】【拡大】（教育費）

学校教育推進担当課 2, 176百万円

人工知能（A I）やビッグデータ、I o T等の高度な技術が社会を大きく変えていく中で、未来の創り手となる子どもたちが、これからの時代に求められる資質・能力を確実に身に付けることができるよう、学校におけるI C T環境の充実やI C T推進体制の確保等に取り組み、I C Tを活用した「主体的・対話的で深い学び」や教員の働き方改革等、教育D Xの更なる推進を図ります。

8年度は、中学校において普通教室の大型提示装置の入替を行うなど、I C T環境の充実を図り、授業等の学習活動で更にI C Tの活用を推進します。

さらに、小学校のプログラミング教材を更新するほか、かつしかチャレンジプログラムにおいては「プログラミングコース」の拡充を図り、プログラミング教育の充実にも取り組みます。

4 **■**体力向上のための取組【計画】（教育費）

教育指導課 7百万円

子どもの体力の一層の向上のため、引き続き「かつしかっ子体力アッププログラム」を実施し、子どもが学校で運動する機会を増やします。また、小学1年生の体育の授業において、外部指導員と連携し、基本的な体の動きを楽しく身に付ける「小学校体力向上プログラム」を、中学校の保健体育の授業において、外部有識者と連携し、体を動かす楽しさや心地よさを味わえる「中学校体力向上プログラム」を実施します。

2 一人一人を大切にしている教育の推進



～一人一人を大切にしている教育を推進し、全ての子どもが楽しく充実した学校生活を送れるようにします～

1 発達障害の可能性のある子どもに対する重層的な支援体制の充実

【計画】 【拡大】 (教育費)

学校施設課・学務課・総合教育センター教育支援課 218百万円

教員が巡回指導を行う「特別支援教室」を全ての小・中学校で実施します。また、多層指導モデル（デジタル版MIM）を全ての小学校で引き続き実施します。

8年度は、現在一部の小学校で試行導入している認知機能強化トレーニングアプリを全ての小学校の特別支援教室へ拡大し、発達特性のある児童が円滑な学校生活を送ることができるよう学習環境を整えます。

さらに、特別支援教室に通室している児童の保護者に向けて実施している「ペアレントトレーニング」の対象学年を、現行の小学1年生から3年生に加えて、小学4年生から6年生までの保護者も参加できるように、拡大して実施します。

2 日本語指導の充実【計画】 【拡大】 (教育費)

学校施設課・学務課・教育指導課・総合教育センター教育支援課 96百万円

来日直後等で、日常の学校生活で使う日本語や生活習慣を身に付ける必要がある子どもに対して、日本語の初期指導を行う「にほんごステップアップ教室」を実施します。また、「日本語学級」において、授業に必要な日本語の指導を行います。さらに、日本語の理解が十分でない子ども及びその保護者と教職員との間の意思疎通を円滑に行えるよう、日本語通訳を派遣します。

8年度は、「にほんごステップアップ教室」の3教室目を金町地域に開設するとと

もに、一部の日本語学級及び日本語指導加配教員設置校に「日本語指導講師」を派遣し、増加する日本語指導の需要への対応を図ります。

また、学習支援用翻訳サービスを試行的に4校で実施します。

3 不登校対策プロジェクト【計画】【拡大】（教育費）

学校施設課・学務課・総合教育センター教育支援課 140百万円

登校できない状況にある子どもを支援する「ふれあいスクール明石」の運営や教室に入ることができない子どもを支援する「校内サポートルーム」の設置、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを活用した支援など、一人一人の状況や課題に応じた様々な支援策を講じ、学校や総合教育センターが家庭と連携して子どもの将来に向けた社会的な自立を支援します。

8年度は、「校内サポートルーム」の運営を全中学校にて開始します。

また、「登校サポーター」については、配置校を小学校2校から3校に拡大します。

さらに、ゆとりある生活時程の中で、生徒一人一人の実態に応じた支援を行う学級である「チャレンジクラス」を双葉中学校に設置します。

4 いじめ防止対策プロジェクト【計画】【拡大】（教育費）

教育指導課 6百万円

区、学校、地域が連携・協力していじめ防止の徹底を図るほか、「葛飾区いじめの未然防止・早期発見・早期対応スタンダード」を活用し、いじめの兆候が見えた場合は、当該学校において速やかに学校いじめ対策委員会で協議し、初動の段階から組織的な対応を行います。

8年度は、弁護士を講師とする研修を実施し、管理職や教職員の対応力向上と法的責任の理解を深めます。

3 教育環境の整備



～いきいきと学校生活を送れるよう、教育環境を整えます～

1 学校施設の改築【計画】（教育費）

学校施設整備担当課・学務課 17,093百万円

良好な教育環境を維持するため、通学区域の変更等も視野に入れつつ学校の適正規模を確保し、地域とのつながりも重視しながら、学校施設の計画的な改築を推進します。

また、改築基本構想・基本計画の策定に当たっては学校別に懇談会を設け、学校や保護者、地域の方々などと意見交換をしながら進めます。

8年度は引き続き改築を進めます。

(1) 水元小学校

所在地	水元四丁目21番1号
施設規模	鉄筋コンクリート造地上3階建
	延床面積 約7,985㎡
実施内容	既存体育館解体工事、外構整備工事
竣工予定	令和9年4月

(2) 道上小学校

所在地	亀有四丁目35番1号
施設規模	鉄筋コンクリート造・鉄骨造混構造5階建
	延床面積 約8,783㎡
実施内容	既存校舎解体工事、外構整備工事
竣工予定	令和9年2月

(3) 二上小学校

所在地 東新小岩七丁目18番1号
施設規模 鉄筋コンクリート造地上4階建
延床面積 約9,341㎡(保育園部分含む。)
実施内容 既存校舎等解体工事、外構整備工事
竣工予定 令和10年6月

(4) よつぎ小学校・四ツ木中学校

所在地 四つ木四丁目8番1号(よつぎ小学校)
四つ木四丁目22番1号(四ツ木中学校)
施設規模 鉄筋コンクリート造・鉄骨造混構造4階建
延床面積 約13,540㎡
実施内容 新校舎建設工事、既存校舎解体工事
竣工予定 令和13年7月

(5) 宝木塚小学校

所在地 宝町二丁目29番23号
施設規模 鉄筋コンクリート造・鉄骨造混構造4階建
延床面積 約7,762㎡
実施内容 新校舎建設工事、仮校庭整備工事
竣工予定 令和12年11月

(6) 常盤中学校

所在地 金町二丁目11番1号
施設規模 鉄筋コンクリート造地上4階建
延床面積 約8,366㎡
実施内容 新校舎建設工事、既存校舎解体工事

竣工予定 令和11年1月

(7) 柴又小学校・東柴又小学校

所在地 柴又四丁目30番1号(柴又小学校)

柴又五丁目12番15号(東柴又小学校)

実施内容 基本・実施設計、仮設校舎建設、既存校舎改修工事、
プール等解体工事

竣工予定 令和13年度

(8) 東四つ木小学校・中川中学校

所在地 東四つ木二丁目13番1号(東四つ木小学校)

東四つ木一丁目3番1号(中川中学校)

施設規模 鉄筋コンクリート造・鉄骨造混構造4階建

延床面積 約14,362㎡

実施内容 新校舎建設工事、既存校舎解体工事

竣工予定 令和11年10月

(9) 小松南小学校

所在地 新小岩二丁目25番1号

実施内容 改築方法の検討

(10) 本田小学校

所在地 立石一丁目7番23号

実施内容 改築基本構想・基本計画の策定

2 学用品の学校備品化【新規】(教育費)

学務課 18百万円

これまで保護者負担で購入していた学用品の一部(算数セット、彫刻刀、粘土板等)

を学校備品として整備することで、子育て世帯の経済的負担を軽減します。

9 地域教育

1 学校・家庭・地域の連携



～学校・家庭・地域の連携により、青少年の健全育成を図るとともに、豊かな教育環境をつくれます～

1 **園** 中学校部活動の地域展開【計画】（教育費）

地域教育課 39百万円

生徒の豊かなスポーツ・文化活動の機会の確保に取り組みます。

7年度末に策定する、本区における部活動の地域連携・地域展開の基本的な考え方をまとめた推進方針に基づき、部活動の地域展開を導入した際の諸課題の抽出やその解決策を検証することを目的としたモデル事業を実施します。

また、学校の状況を踏まえ、引き続き部活動顧問指導員や外部指導者の配置充実を図ります。

8年度は、新たなモデル校において単独校モデル事業を実施するとともに、7年度から実施している中川中学校、四ツ木中学校での合同校モデル事業を継続して実施します。

10 生涯学習

1 区民学習

～多様な学びと交流の機会を整え、自主的な学習活動を支援します～

1 学びの機会の充実【計画】（教育費）

生涯学習課 8百万円

あらゆる世代の区民が充実した人生を送るため、区民のニーズに基づいた主体的な学びの機会を充実させます。

また、区民の学びが地域活動やボランティア活動に結び付き、地域活動を通して更に学びが深まる「学びの循環」が地域社会に生まれるよう、多様な方法で区民の生涯学習活動を支援します。

あわせて、ICTを活用した場所や時間に制約されない学びの機会の提供に取り組みます。

11 スポーツ

1 スポーツ活動の推進

～区民誰もが多様なスポーツに親しみ、健やかに暮らせる環境をつくれます～

1 高齢者の健康づくりの推進【計画】（教育費）

生涯スポーツ課 9百万円

健康寿命の延伸と健康格差の縮小をめざし、高齢者が自主的・積極的に安心してスポーツを行うことができる環境づくりを推進します。また、スポーツ指導員やスポーツボランティアを養成し、各種教室やイベントで活用していくことで、高齢者が身近な地域で安心、安全にスポーツに取り組むことができるようにしていきます。

これからスポーツを始める方、日頃からスポーツに取り組んでいる方が自身の体力状況を把握したうえで運動の継続を促すための、体力テスト測定会を実施します。また、高齢者が手軽に取り組めるスポーツプログラムとして、本区の推奨スポーツであるグラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、ダーツの3種目の普及を促進します。さらに、身近な場所で手軽に取り組めるウォーキングを推進するウォーキング・ランニング事業を実施します。

(1) ～測って、知ろう～体力テスト	大規模測定会 (奥戸SC・水元SC)	年 2回	各300人
	出前形式	年10回程度	各100人
(2) 高齢者推奨スポーツ	体験会 (3種目)	年各2回程度	
(3) レクリエーションスポーツ	体験会	年1回	300人
(4) ウォーキング・ランニング推進	ウォーキング	年1回	400人
	シティロゲイニング	年1回	300人
(5) ランニングステーション事業	ランニング	5教室	
	ウォーキング	5教室	
(6) スポーツ指導員養成講習会	共通科目	年1回	20人
	専門科目	年3回	各20人
(7) スポーツボランティア講習会		年2回	各30人程度

2 障害者スポーツの推進【計画】 (教育費)

生涯スポーツ課 9百万円

障害者が自主的かつ積極的に安心してスポーツ活動に取り組めるよう、パラスポーツ指導員の養成と発掘を進めるとともに、年間を通して定期的に水泳やトランポリンの教室や開放事業を開催し、指導員の活動の場を提供します。また、共生社会の実現

に向けて、ボッチャやフロアホッケー等、障害がある方もない方も同じルールで一緒に楽しむことができるユニバーサルスポーツの普及のため、PRイベント「ユニすぽカーニバル in かつしか」を実施するとともに、指導員やボランティアの育成を図ります。

- | | |
|---------------------|---------------------------------|
| (1) 障害者水泳教室 | 年46回 各10人 |
| (2) 障害者スポーツ教室 | 年24回 各20人～40人 |
| (3) 障害者スポーツ指導員養成・活用 | 講義9回・実技4回 20人 |
| (4) 障害者スポーツ普及啓発事業 | 開放事業 2種目 各週1回程度
普及啓発イベント 年1回 |
| (5) フロアホッケー | 大規模大会 年1回 |

3 区民健康スポーツ参加促進事業【計画】（教育費）

生涯スポーツ課 42百万円

一般社団法人葛飾区スポーツ協会と連携して、協会加盟41種目の団体が実施する、運動経験の少ない方や初心者向けのスポーツ体験教室や大会、指導員養成などの取組を支援します。これにより、区民が多様なスポーツに親しむ機会を提供してスポーツ実施率を向上させるとともに、誰もがいつまでも健康に過ごせる環境づくりを進めます。

また、堀切水辺公園を中心に荒川河川敷で開催する「かつしかふれあいRUNフェスタ」について、イベント企画やおもてなしサービスの充実を図り、参加者の増加や満足度の向上に取り組みます。あわせて、多くの区民がランナーとしての参加に限らず、運営ボランティアや沿道での応援など、これまで以上に多様な形で関わり、地域全体で盛り上がる魅力ある大会となるよう、ハーフマラソンコースの一部公道化の検討を進めます。